



令和6年3月21日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

駅前を「車」中心から「人」中心の空間へ 国立駅南口駅前広場整備の 検討が始まります

国立市では、JR国立駅周辺の良い街並みや住環境の保全に配慮しながら、国立駅周辺整備を行ってきました。また、令和4年度に「旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針」を定め、その後、デザインアイデアコンペを実施して、広場のデザインにつながるアイデアを広く募集してきました。

整備基本方針やデザインアイデアコンペの結果を踏まえ、市民の意見や地域の意向を聞きながら、国立駅南口駅前広場が、これまでの歴史や理念を継承し、旧国立駅舎とともに「くにたち」の顔となる広場空間となるよう基本設計などの検討を始めます。

このことについて、市内外に広く周知したく、ぜひ、貴媒体での取材・掲載方、お願いいたします。

【国立駅南口駅前広場のイメージパース】



※本パースは事業者より示された「提案」であり、このとおり整備されるものではありません。今後ワークショップなどを開催し、広く意見を募集していきます。



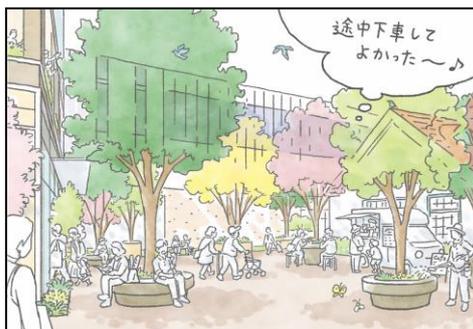
1. 国立駅南口広場整備のこれまでの経緯

- 2009年(平成21年) まちづくり基本計画
国立駅周辺のまちづくりの基本的な考え方を示す
- 2010年～2014年(平成22年～26年) 国立駅周辺まちづくり会議
国立駅周辺のまちづくりについて、専門家、市民、関係機関が包括的に検討
- 2020年(令和2年) 旧国立駅舎の再築
国立駅前のシンボルを再築
- 2021年(令和3年) 市民アンケートの実施
東西広場や円形公園等の整備コンセプトなどについての市民意見を収集
- 2022年(令和4年) 旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針の策定
東西広場・円形公園整備のコンセプト、基本的な考え方を示す
- 2022年(令和4年) デザインアイデアコンペ
広く市民から具体的な広場のアイデアを募り、広場整備で大切にしたい視点を、明確化し、プロポーザルにつなげる
- 2023年(令和5年) 基本設計プロポーザルの実施
整備に向けて、基本設計を行う事業者を選定

2. 国立駅南口広場整備のコンセプト

約100年前、国立駅とともに大学町が生まれました。三角屋根の駅舎、水禽舎のある円形公園が特徴的な駅前広場は、人々が集まる場所でした。これらは、時とともに車中心の空間に変わっていきました。

現在、旧駅舎再築を機に、駅前を人中心の空間とする機運が高まっています。駅前から大学通りにつながる緑と人の空間をつくり、そこに集まる動植物も含め、それぞれが居心地よく過ごせる駅前広場をコンセプトとしました。そして、そこに人々が関わり、さまざまな活動を通して考え学ぶ場へと成長する国立駅南口駅前広場をめざします。



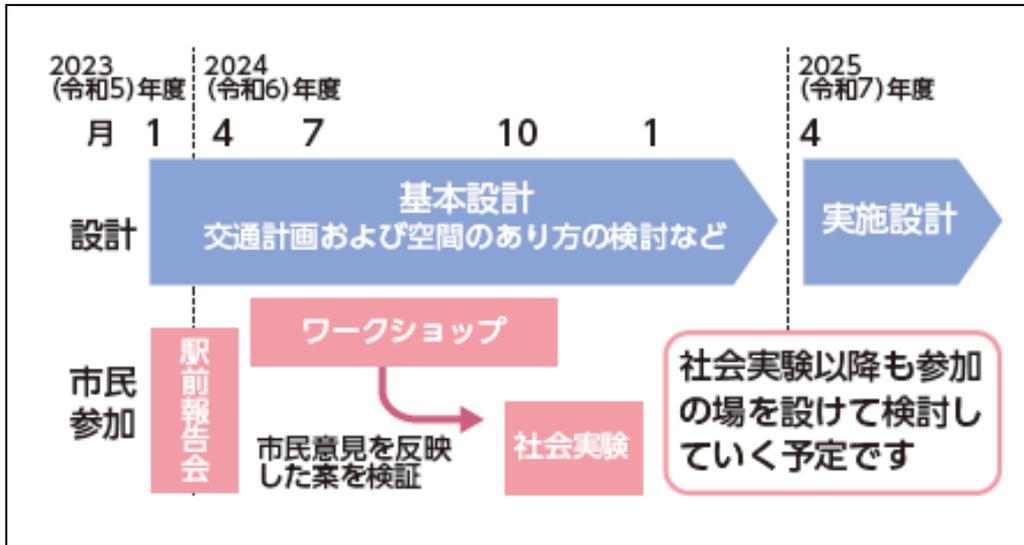
▲西側広場のイメージ



▲東側広場のイメージ



3. 今後のスケジュール（予定）



4. 「国立駅南口駅前広場整備」駅前報告会

国立駅南口駅前広場整備に関する検討経緯や、基本設計の公募型プロポーザルの提案内容をパネルで紹介します。また、来場者からの意見募集コーナーも設けます。

- ・ 日時 3月30日(土)・31日(日)各日午前10時～午後4時
※展示は4月5日(金)まで実施します。
- ・ 場所 旧国立駅舎(国立市東1-1-69)

※国立駅南口駅前広場整備について、市ホームページ内でアンケートも実施中です。ぜひ、ご意見をお聞かせください。

問い合わせ

国立市 都市整備部
国立駅周辺整備課
国立駅周辺整備担当

TEL：042-576-2111(内)380



国立市
KUNITACHI CITY

文教都市くにたち